

# くずれゆく港北ニュータウン

20年、便利で、安全で、  
緑豊かななまちに住み、  
理想郷をめざした先人を  
想いつつ

港北ニュータウン新住民  
都筑魅力アップ協議会会長 山岸紀美江

## 横浜市が計画したまちの理念

- **乱開発の防止**
- **都市農業の確立**
- **住民参加**
- **多機能複合都市(1986)**

# 全国のニュータウン(300ha以上)

- 面積: 18.9万ha/日本国土3779万ha
- 事業開始: 昭和45-49にピーク、  
その後減少
- 事業手法: 区画整理事業が多い
- 事業主体: 公的・民間等主体は様々

# 公団施行区域まちづくり方針

- 緑の環境を最大限に保存する
- ふるさとを偲ばせる
- 安全
- 高い水準のサービスが得られる

# 都市づくりの基本方針－1

## 緑の環境を最大限に保存する

開発時にあった樹林の保全を計画の上でもっとも重視し、この地域の自然環境を生かして、緑の中に新しい街を調和させていく、すなわち、公園・緑地の約50%は、自然地形と植生の保全を図る。集合住宅等の保全緑地と農業専用地区を加えると緑の面積は、事業区域の約20%を占める。

# 現状

- 谷戸沿いの屋敷林(斜面緑地)をネットワーク化した緑道・せせらぎ・公園は魅力的な空間を形成している。旧住民と故郷から離れて住む新住民の共通の故郷を創り出している。
- 保全維持活動には市民が参加している。
- 多様な要望が、保全管理方法に、意見の相違が見られる。
- 緑道の再整備が始まっている

# 緑道の草刈と舗装



## 都市づくりの基本方針－2

# “ふるさと”をしのばせる

将来30万人の人々が住むようになって、  
幼いころの夢をはぐくむような “ふるさと”をのこす。

斜面緑地・せせらぎ・小富士・城址・神社仏閣・  
文化財・貝塚などを保存した。



# 街の人口

## 50年後の日本

# 人口9000万人割れ

## 出生率1.26に下方修正

少子化加速 年金見直し不可避

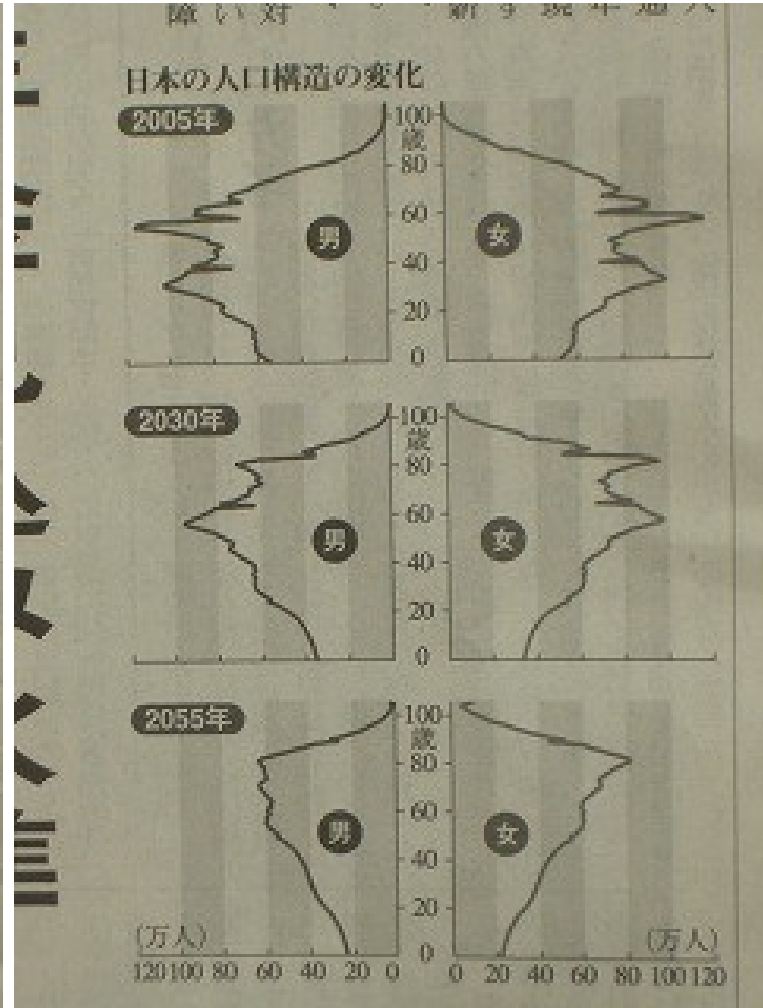
日本の人口と出生率の推移

年	出生率 (人口1000人あたり)	人口 (万人)
1950年	2.0	80
2008年	1.27	127,777,734
2020年	1.26	120
2050年 (推計)	1.26	90

出生率 1.26に下方修正

人口9000万人割れ

少子化加速 年金見直し不可避

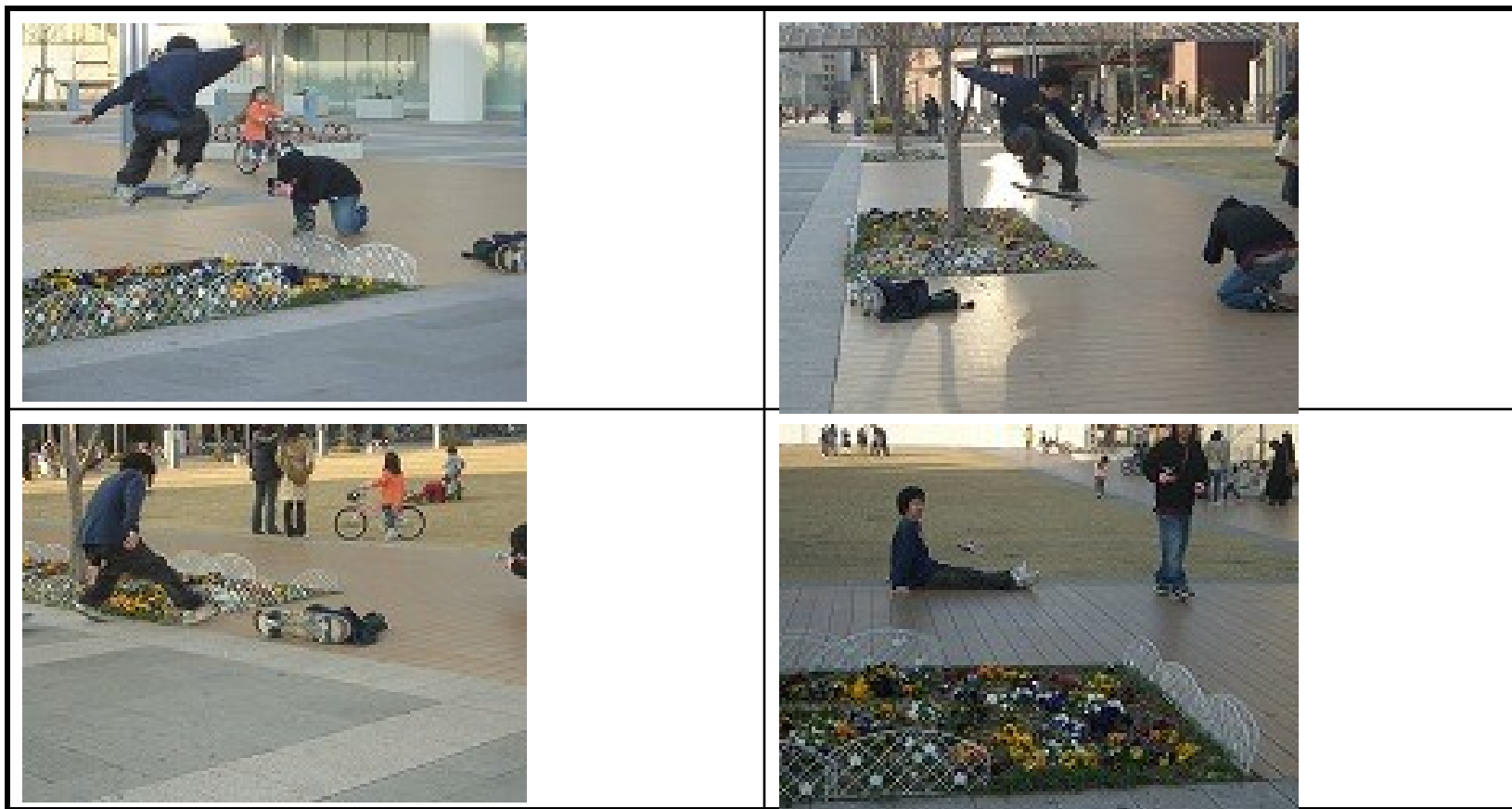


# 小学校・中学校の新設

- 緑道に配置された牛久保小学校



# 街の宝は多くの子どもたち



## 都市づくりの基本方針－3

### 安全な都市づくり

人と車の分離を図り、人間中心のまちづくりを最重点とする。：歩車分離

住宅地の居住環境を良好に保つための道路網(歩行者自転車専用道)・道路構造(立体交差・U字型区画道路)・電線の地中埋没など。

# 歩車分離・平均傾斜角



横断歩道

階段

緩やかなスロープ

手すり



高齢者

足の不自由な人

車椅子・自転車

# 歴博通り: 落書き・安全無視



## 都市づくりの基本方針－4

### 高水準のサービスが得られる

市民が快適で、便利な都市生活を享受できるまち。鉄道・道路・あらゆる都市施設(教育・社会文化・供給処理・商業業務など)を適切な配置した。

この街は、ただここに住む人々だけのものだけでなく、横浜市全体の近代都市機能を強化する。

# 2系統の地下鉄

- ブルーラインとグリーンライン





# 住民の街づくりへの参画

- 港北ニュータウン計画遂行の旧住民と横浜市と公団の事業運営組織は解散した。
- 港北ニュータウン開発対策協議会
- 港北ニュータウン事業推進連絡協議会
- 土地区画整理審議会
- 小規模宅地所有者の会

# これから

- この街の成り立ちを、住民が知る機会が必要
- 設計思想と現状・将来を把握して、公平な検証をする
- 住民(市民・企業)と行政が同等に協議できる場と機会をつくる

## 市民参加とは

- 正確な情報公開
- 真の会議の場と数
- 自発意思による参画
- 住民から市民へ